



次期システムへの移行方針

2012年10月19日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

1. 次期システムへの移行方針

第6次NACCSへの移行においては、現行NACCSの機能、DB等について、一括で移行することを目指すこととする。

また、移行に要する時間は、前回のAir-NACCS更改時の移行時間を目安とする。

区分	概要	備考
1. 個別検討事項	次期システムへの移行方針	
2. 現行仕様	<ul style="list-style-type: none">▶現行（第5次）NACCS更改においては一括移行を採用▶平成20年10月のSea-NACCS更改は8時間、平成22年2月のAir-NACCS更改は5時間で移行を実施	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	現行（第5次）NACCSは航空システム及び海上システムが統合されたシステムであること、また、平成25年10月にはFAINS、ANIPAS及びPQ-NETWORKの統合も予定されており、関係省庁システムが全て統合されたシステムとなること、等から大規模な移行となることから慎重な作業が要求される。	
4. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none">① 統合されたFAINS、ANIPASおよびPQ-NETWORK機能を含め、現行NACCSの機能、DBについて、一括で移行することを目指す。② 移行に要する時間は、前回移行時に要した時間を目安とする。	
5. その他	移行データを最小にするために、移行前日には、仕掛り中データが残らないような運用についても検討する。	

2. 移行方針について

第6次NACCSへの移行については、以下の観点で検討を行うこととする。

【方針①】 移行時間の短縮を図りつつ、確実な移行を目指す。

- 利用者の運用への影響を考慮し、移行時間の短縮を図る。
- 第6次NACCSへの移行後に利用者の業務に支障を与えないよう、データ等の移行を確実に進行。

【方針②】 一括移行を目指す。

- 新旧システムの並行稼働を行った場合には、利用者システム等の接続先が2つとなることから、新旧2つのシステムの接続先を切り替えたり、データの整合性を考慮しながら業務を行う等必要が生じるため、利用者の業務運用が煩雑となる。その為、利用者への負担が最も少ないと考えられる一括移行を目指すこととする。

